

原敬記念館 第70回企画展

内務大臣

原敬

— 巨大官庁

”内務省“を率いた男



内務省庁舎
(国立国会図書館蔵)

令和8年6月13日(土) - 8月16日(日)
原敬記念館小ホール 企画展示コーナー

- 開館時間 / 9:00~17:00 (入館は16:30まで)
- 休館日 / 毎週月曜日 (祝日の場合は翌平日)
- 入館料 / 一般 300円 (団体 240円)
高校生 200円 (団体 160円)
小・中学生 100円 (団体 80円)
団体入館料は20人以上の団体に適用します
盛岡市内の小・中学生は無料です

主催 / 原敬記念館(所管:盛岡市教育委員会)
公益財団法人盛岡市文化振興事業団
共催 / 原敬を想う会



指定管理者: 公益財団法人盛岡市文化振興事業団

原敬記念館

HARA-KEI MEMORIAL MUSEUM

〒020-0866 岩手県盛岡市本宮4丁目38-25
TEL: 019-636-1192 FAX: 019-636-1185

原敬記念館
第70回企画展

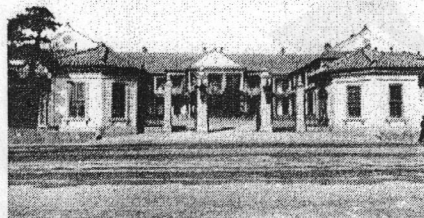
内務大臣・原敬

—巨大官庁
“内務省”を率いた男—

令和8年6月13日(土)～8月16日(日)

明治39年(1906)に発足した第一次西園寺公望内閣で、原敬は内務大臣に就任します。内務大臣は地方行政・警察・土木などの内務行政を統轄する内務省の長で、事実上の副総理といえるポストです。それまで内務省と無縁だった原ですが、内務大臣就任後は様々な改革を進め、政党政治家として頭角を現していきます。特に郡制廃止法案の提出は、藩閥と戦う政治家というイメージを世間にも与えました。その後も第二次西園寺公望内閣、第一次山本権兵衛内閣の内務大臣を歴任する中、管轄外の案件にも携わるなど、原は政治家として大きく成長していきました。

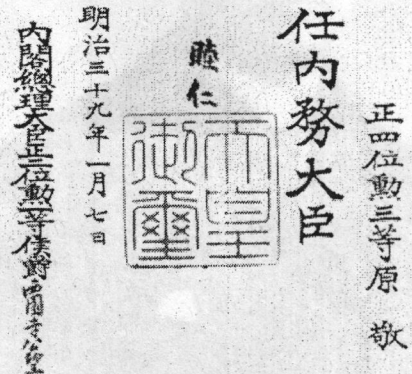
今年が原が初めて内務大臣に就任して120年となることから、内務大臣としてどのような政策を進めたのか関連資料を通して紹介します。



内務省庁舎
現在の千代田区大手町にあった。

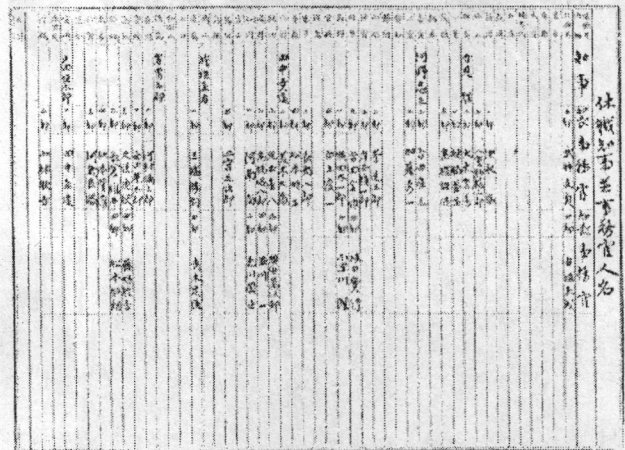
原敬 | 1856～1921 |

安政3年(1856)2月9日、岩手郡本宮村(現盛岡市本宮)に生まれる。盛岡藩校・作人館に学び上京、司法省法学校、郵便報知新聞記者等を経て外務省に入る。やがて政界へ進出、内務大臣等を経て第19代内閣総理大臣となった。日本初の本格的政党内閣を組織した「平民宰相」として支持を集めたが、大正10年(1921)11月4日、東京駅にて兇刃に倒れた。享年65歳。



辞令「内務大臣」

明治39年(1906)に第一次西園寺公望内閣の内務大臣に就任した原は、第二次西園寺公望内閣・第一次山本権兵衛内閣でも内務大臣を歴任した。写真は第一次西園寺公望内閣のもの。



休職知事並事務官人名

内務大臣となった原は老齢の知事を更迭・左遷し、若手官僚の登用を進めた。新進の学士官僚の支持を得るとともに藩閥の勢力を削ることもつなげた。

◆企画展関連講座

演題／巨大官庁“内務省”と原敬
講師／佐々木章行(原敬記念館主任学芸員)
日時／令和8年8月8日(土)13:30～15:00
料金／無料
受付／令和8年7月18日(土)10:00～電話にて先着20人

◆担当学芸員による展示解説

日時／①令和8年7月4日(土)13:30～14:15
② “ 8月8日(土)15:15～16:00
料金／入館料が必要
受付／①令和8年6月13日(土)、②7月18日(土)
いずれも10:00～電話にて先着20人

(公財)盛岡市文化振興事業団からのお知らせ [他館のご案内]

◎盛岡市先人記念館

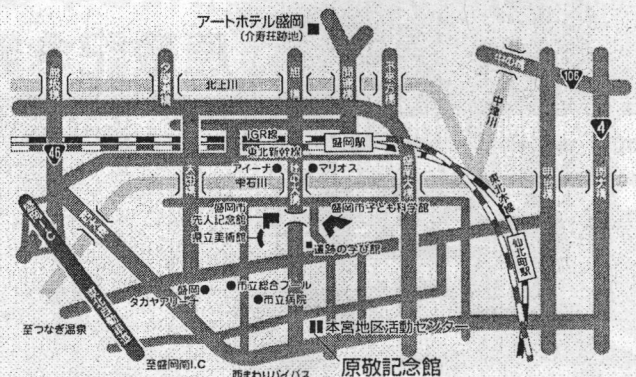
第73回企画展「奉仕の心 柴内魁三」
令和8年7月11日(土)～9月6日(日)

◎石川啄木記念館

啄木生誕140周年記念 盛岡市・玉山村合併20周年記念
石川啄木記念館第20回企画展
「啄木いしぶみ紀行②みちのくに建つ碑(いしぶみ)」
令和8年6月27日(土)～9月27日(日)

◎盛岡てがみ館

第77回企画展「盛岡のモノとヒト」
令和8年6月17日(水)～10月5日(月)



交通アクセス

[バス] ①原敬記念館前下車・盛岡駅発着 盛南ループ200・矢巾営業所行 本宮線・羽場線
②「もといち泉公園前」下車徒歩5分・イオンモール盛岡南線
[タクシー] 盛岡駅より約5分